

# Together

徳島県立穴吹高等学校  
人権啓発新聞「Together」第1号  
2015年7月17日発行  
ビューマンライツ部

今年最初の人権啓発新聞「Together」です。  
この新聞は年3回刊行していきます、穴吹高校での人権学習や、  
行事、ビューマンライツ部の活動を紹介していきたいと思ひます。  
これを機に家族の方々と人権について話し合っていただけることを  
願っています。

## What's ビューマンライツ部?

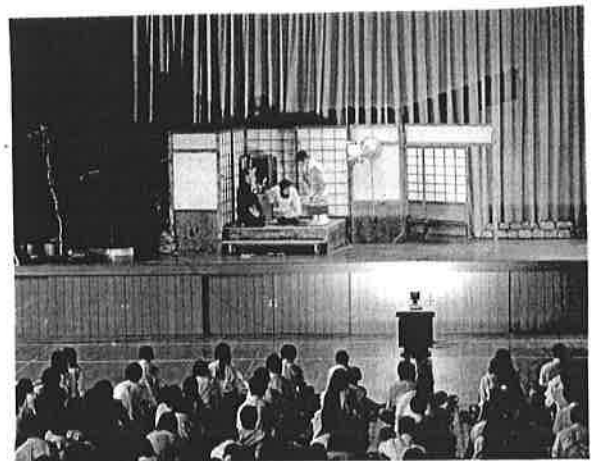
ビューマンライツ部は現在、2年生3人という少人数で活動しています。  
活動内容は、他校の生徒達との交流集会に参加したり、先進地  
研修へ行くなど、様々です。あまり堅苦しい内容ではなく、みんなで和  
気合々と楽しんでいるので、興味のある方は気軽に部員や先生に声を  
かけて下さい。

## —人権教育講演会—

5月28日(木)

徳島県ハンセン病支援協会会長の十川勝幸さん  
と千の舞い座のみ存さんによる人権劇『千の舞い  
～ふるさとへ帰りたい～』を鑑賞しました。

**あらすじ** 中学生たちが山頂で出会ったおばあさんは、12歳の  
ときにハンセン病を発病し、世間の差別や偏見を恐れ、  
四国偏路に出すしかなかった両親。  
おばあさんが療養所に来たから60年余り、故郷に帰りたくて帰れない  
日々が続きました。ハンセン病回復者を苦しめてきた国の隔離  
政策は終わりました。でも…  
「今もまだ遺されているものがあるんじゃないか…」



## 講演会感想

- ・もし、自分がハンセン病にかかり隔離されたら、本当に死にたいと思う。
- ・治ったあとも隔離され、自分のふるさとに帰れない。かえりたがりそれが辛くて苦しいかということを感じた。
- ・ハンセン病や回復者の方々に対して正しい知識を持ち、差別的な考えを無くしていかなければならない。



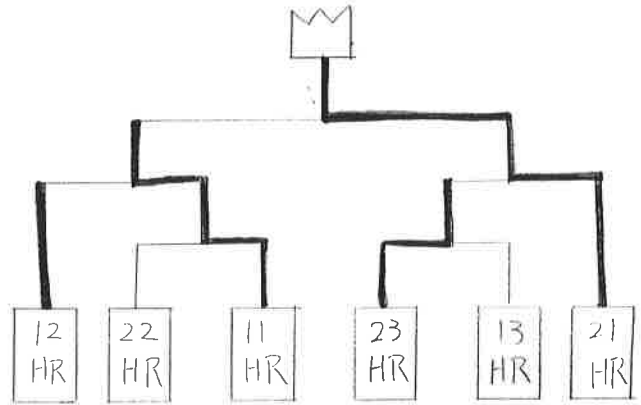
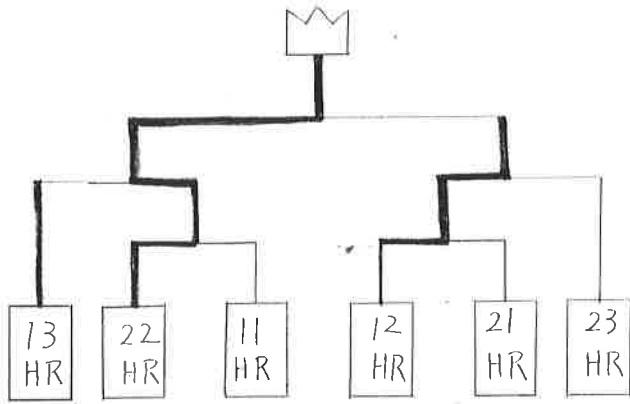
# 同和かるた取り大会

6月22日(月)放課後、7・2年生の各クラス代表  
女子6名、男子6名が参加し、  
同和かるた取り大会としました。



## 女子トーナメント表

## 男子トーナメント表



女子優勝 22 HR 井川葵さん

男子優勝 21 HR 秦貴凡さん

## 人権ホームルーム活動

毎年、年間5回の人権LHRを実施して  
います。

1年生

実際にクラスで同和かるた取りを体験  
した後、同和かるたの読み札にごめられ  
た差別解消への人々の願いや思いにつ  
いてグループで話し合いました。かるた取り  
をした時に印象に残った読み札の言葉や  
絵札を思い出しながら差別のない  
社会・学校・クラスにするために自分に何が  
できるかについて考えることができました。

2年生

男女差別について学習しました。男は仕事  
をして、女は家事をするほどの固定観念を  
どうやって解消すればよいのか?とグル  
ープで話し合いながら深く学ぶことが  
できました。

3年生

「就職差別につながる14項目」について  
勉強しています。就職試験を真近に控えて  
公正な選考について考え、就職差別を許さ  
ないために、14項目の質問を聞かれたとき  
の答え方を練習しています。

## 校内人権の日

穴吹高校では月に1回、身近な人権問題について  
話し合う校内人権の日があります。

4月 「一字に願いを込めて」

4月になり、入学・進級など、みんなの身のまわりの環境は  
大きく変わりました。そこで、今年1年の目標を漢字一字に  
表し、今の自分にできることなどを考えました。

5月 「人権劇を鑑賞して」

5月には劇団早の舞い座の方による劇の鑑賞と、  
十川勝幸さんのハンセン病や、そのことで起ころ差別などこ  
についての講演会を拝聴させていただきました。

6月 「心のバリアフリー」

6月は、様々な人とのコミュニケーションのとり方を、  
オリンピック・パラリンピックを通して考えました。  
タイトルの「心のバリアフリー」とは、障がいの有無に関わらず  
社会で共に生きる仲間として思いやりを持って生活をしようという  
思いがこめられています。

